



# 伊達市第3次総合計画

人と緑と歴史が結び合う  
ひかり輝く田園空間・伊達市



2023 ~ 2032  
(令和5年度) (令和14年度)

福島県 伊達市



# 伊達市第3次総合計画

人と緑と歴史が結び合う  
ひかり輝く田園空間・伊達市

令和5年度～令和14年度



伊達市



## 伊達市民憲章 ～心をひとつに～

わたしたちは、緑豊かなふるさとの歴史と伝統に誇りをもち、協働の精神でさまざまな困難をのりこえ、健康で安心して暮らせる活力のある「伊達なまちづくり」をめざし、この憲章を定めます。

- 一 まもりましょう ふるさとの自然と歴史を
- 一 つなぎましょう 世代の絆とたしかな信頼を
- 一 そだてましょう 支えあいと思いやりの気持ちを
- 一 きずききましょう 学ぶ心とゆたかな文化を
- 一 めざしましょう すこやかで活力のあるまちを



## ごあいさつ

平成18年1月に「伊達市」が誕生してから、18年目を迎えました。

人口減少と少子高齢化が進む中、第2次総合計画に掲げた将来像「健幸と個性が創る活力と希望あふれる故郷<sup>ふるさと</sup> 伊達市」を実現するため、市民の皆様とともに、地域の個性を活かしたまちづくりを進めてまいりました。

令和3年4月に東北中央自動車道（相馬福島道路）が全線開通したことにより、人やものの流れが活発になってきました。

また、新工業団地への企業誘致が順調に進んでいるほか、令和6年度には大型商業施設の開業が予定されるなど、明るい未来への基盤づくりが着々と進んでおります。

一方、令和元年東日本台風や福島県沖を震源とする地震など、大規模な自然災害が多発しているほか、新型コロナウイルス感染症も、いまだ終息の兆しがみえず、安全・安心への意識が一層高まっております。

また、長引くコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻などを要因とする、原材料費や資源価格等の高騰による物価上昇は、市民生活に大きな影響を与えております。

このような中、第2次総合計画が計画期間の満了を迎えたことから、社会環境や市民ニーズの変化に的確に対応し、将来にわたって魅力と活力のある伊達市を築いていくため、「伊達市第3次総合計画」を策定しました。

第3次総合計画では、10年後に目指す将来像を「人と緑と歴史が結び合うひかり輝く田園空間・伊達市」と決めました。

「人」はあたたかく人情味のある市民性、「緑」は豊かな自然や特色のある農業、「歴史」は貴重な歴史文化資源を表しております。

これら長年にわたる市民の努力により培われた「宝」を結び合わせ、自然と都市が調和する、美しい田園風景に包まれた未来に輝く伊達市を創ってまいりたいと考えております。一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたりまして、アンケート調査、ワークショップ、分野別意見交換会など、様々な機会を通して貴重なご意見をいただきました市民の皆様、ご指導・ご助言を賜りました伊達市総合計画審議会の皆様をはじめ、ご協力を賜りました多くの皆様に心から感謝を申し上げます。

伊達市長 須田博行